

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2014 年 5 月

IEC/TC89 (耐火性試験) イスタンブール会議

IEC/TC89 の国際会議が 2013 年 9 月 24 日～27 日、トルコ共和国のイスタンブールで開催された。参加国は、米国、英国、ドイツ、イタリア等 10 か国で、総勢 28 名の参加があった。日本からは、IEC/TC89 国内委員会の吉田委員長 ((一社)日本舶用品検定協会)、春原委員 (ポリプラスチック(株))、林委員 ((一社)電線総合技術センター)、香月委員 ((独)製品評価技術基盤機構) および乾 (乾安全規格事務所) の 5 名が参加した。

WG11 (火災放出物) 会議が開かれなかったが、WG12 (着火と燃焼の広がり)、AG13 (TC89 戦略)、PT 60695-1-13 (製品 TC に共通の耐火性クラス分けガイダンス) および TC89 全体会議が行われた。以下、TC 全体会議の審議結果を含めた各 WG のトピックスをプラスチックに関係のあるテーマを中心に述べる。

1. WG11 会議 (燃焼生成物, ガイダンス, 用語及び火災安全技術)

(1) IEC 60695-1-12 (火災安全技術)

CDV 投票中 (12 月 6 日締め切り)。

(2) IEC 60695-6-30 (発煙性試験方法—装置)

TS が 4 月に発行された。次回メンテナンスで廃止する予定 (ISO 5659-2 を利用する) こととなっている。

(3) IEC 60695-6-31 (発煙性試験方法—材料)

TS が 2 月に発行された。

(4) IEC 60695-8-2 (発熱量—試験方法の概要と適用)

マイクロカロリーメータ試験方法 (ASTM D7309) が追加され、CDV 投票中 (12 月 6 日締め切り)。

2. WG12 会議 (着火と燃焼の広がり)

(1) IEC 60695-2-10 (グローワイヤ試験—試験装置及び一般試験方法)

新版が 4 月に発行された。

(2) IEC 60695-2-11 (製品のグローワイヤ燃焼性試験方法)、2-12 (材料のグローワイヤ燃焼性試験方法) および 2-13 (材料のグローワイヤ着火性試験方法)

FDIS 投票準備中 (2014 年 2 月に発行)。

(3) IEC 60695-2-20 (ホットワイヤ着火性試験方法)

新たなプロジェクトチームでラウンドロビン試験実行中。次回会議で、NWIP に再度出すか、検討する。

(3) IEC 60695-10-2 (ボールプレッシャー試験方法)

FDIS 投票準備中 (2014 年 2 月に発行)。

(4) IEC 60695-11-2 (1kW 試験炎による試験方法)

FDIS 投票中 (12 月に発行)。

(5) IEC 60695-11-5 (ニードルフレーム試験および指針)

メタンガスの追加と流量を検討するプロジェクトチームを設置し、2014 年早々に CD テキストを作成する。

(6) IEC TS 60695-11-10 (50W 試験炎による試験方法)

新版が 5 月に発行された。

(7) IEC TS 60695-11-11 (火炎からの熱流束による着火性試験) : 本規格は日本提案。

ラウンドロビン試験の結果を附属書 (参考) として追加し、TS の CDV として進める。

(7) IEC/CD 60695-11-20 (500W 試験炎による燃焼試験)

日本から提出した改良追尾法を CDV 案とし、投票中。

(8) IEC/CD 60695-11-40 (火炎確認試験のガイダンス)

日本からの提案に基づいて改訂作業を開始している。

4. その他

PT 60695-1-13 で耐火性クラス分けガイダンス作成は、序文で燃焼生成物や腐食性熱分解物の規定を残すべきかどうか議論があり、一度議長・幹事・プロジェクトリーダーでより適切な文言へ見直す事で合意した。製品安全規格からの出席者が少なかったため、次回会議で再度審議を行うことになった。

次回の会議は 2014 年 5 月 6 日～9 日に、イタリアのボローニアで開催される予定である。

報告：日本プラスチック工業連盟
電気材料安全・規格委員会派遣
乾 泰夫 (乾安全規格事務所)

以上